

平成 28 年度（2016 年度）事業計画

（平成 28 年 4 月 1 日～3 月 31 日）

アジア調査会は来年で創立 52 周年を迎え、シンクタンクとしてさらなる発展を目指します。そのためにも財政基盤の充実を図る所存です。各方面のご協力も得ながら法人、個人会員の拡張を目指しています。経済状況がなかなか好転しない中、急速な法人会員の拡張がままならず、今後個人会員の拡張も視野に入れて拡張運動を展開する所存です。会員サービスを充実させるため、現役の毎日新聞記者による講演会なども予定しています。

28 年度はアジア時報の広告収入が増える見込みで、今後さらに広告営業を拡充し財務状況の改善を目指します。また昨年 10 月にホームページを刷新しましたが、アジア調査会の活動を広める一方、アジア時報掲載の原稿の一部を素早くアップすることなどで的確な情報発信を行い、調査会の知名度を高めていきます。

（1）講演会・シンポジウム

講演会を東京で年 6 回開催する予定です。講演内容は「アジア時報」に全文掲載し、重要な記録として残していきます。また国際シンポジウムは東京で 1 回、開催する予定です。また会員サービスの一環として、新たに元特派員らによる講演会も年 3～4 回実施します。

（2）調査・研究

アジア研究委員会を年 3 回開催し、委員らによる研究発表、外部識者による講演、研究発表等を実施し、アジア時報に詳細を掲載します。

（3）出版

月刊情報誌「アジア時報」を年 10 回発行します。

（4）ネットによる発信

昨年 10 月、アジア調査会のホームページを刷新しました。アジア調査会のアジア時報掲載の原稿の一部を積極的に掲載し世論形成の一翼を担っていきます。

（5）事業

毎日新聞社と共同主催している『アジア・太平洋賞』は今年度もスルガ銀行に特別協賛、日本生命と三菱商事に協賛、全日空に協力をお願いし、第 28 回を開催する予定です。また『毎日講演センター』の講師斡旋事業を継続して行います。